

# 令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人 アニマルクラブ石巻

## 事業の成果

### ■コロナ禍

コロナ禍の社会では、貯えのない人から生活が困窮していきました。野良猫を増やさない、不幸になる命を生ませない目的で週に1度開院している不妊予防センターでも、支払いのできない猫の手術や治療を、これまで以上に行いました。市内にも『このままでは多頭飼育崩壊になるケース』も幾つかありました。

「エサも買えない」相談も数件あり、話を聞くと飼い主も食事にも困っていて、米や食料品を渡したケースもありました。一度もらうと、同じ人が何度か「猫のエサと砂を持って来て欲しい」、「年金が入ったら返すから米を貸して欲しい」と言ってきました。

特に大変だったのは、「犬のお腹が腫れて破れて血が出てきた」という慌てた電話に、ボランティアが車で迎えに行って、動物病院に運んだ時。乳ガンの自壊で卵巣まで転移していて、手術代や治療費に30万円余かかりました。その上、アパートの駐車場で飼われていた犬を元の場所に返すわけにもいかず、退院後は老犬ホームに一時預かり、その後はボランティア宅で保護して介護しました。「分割払いで良いから少しずつでも…」と約束した支払いですが、生活保護を受け、他にも多数の猫を飼っている老人から返済は全くありませんでした。

動物には社会保障がないから、関わったら全部背負わなくてはなりません。何とかできる範囲での対応を続けていますが、まさに身を切ることでは動物達を救えない活動です。アニマルクラブ自体が資金難なので、「こちらもやがて多頭飼育崩壊になってしまうのではないか…」という不安は、これまで以上に重くのしかかってきました。

コロナ禍は経済面だけではなく、精神的にも人々を追い詰めたから、「お金もないし体調も悪くて、もう飼えない」とメールや電話を連打して泣きついてきた人が、里親探しに連れて来ると、今度は「私の子供なのだから、いないと生きていけない」などと泣きの涙で訴えてきて…結局は、こちらがエサや薬を届けて援助していくことで、飼い続けてもらうパターンもあります。

近年、我々はアニマルクラブがこの先長期の活動を続けることは無理だと悟って、石巻市に『動物問題にアドバイスと援助ができる窓口とシステムの構築を要望』していますが…こうしたケースバイケースの金銭と感情絡みの問題への対応は、行政では難しいだろうと感じます。ただ40年以上の活動で得たノウハウには役立つものがあると思うので、アニマルクラブが在るうちに石巻市が動いてくれることを願うばかりです。

### ■高齢化と人任せ社会

近年、老人からの相談がめっきり多くなりました。独居の人が増え、寂しさから犬を飼ったり、野良猫に餌付けしたりしていますが、やがて、1人で生活することが困難になって、「何とかして欲しい」という一方的な依頼がきます。「そう簡単にはいかない」説明をしても「引き取ってくれると聞いた」と言い張ったり、認知症気味なのか会話にならないケースもあります。施設入所や入院が決まってから、離れて暮らしていた子供や地域の包括センター等から、切羽詰まった相談が来ることもあります。

テレビ番組に出てくる『動物保護団体』が、多頭飼育崩壊現場に駆けつけ、劣悪な環境から次々と救い出す物語を鵜呑みにしている人達は、個々の命と向き合って動物を護り育てて行くということが、どれほどの労力と費用を必要とするのかを考えようとはしません。

都合の良い願望に応えるかのような『ふるさと納税で、動物愛護を支援して殺処分ゼロを！』掲げる都市と団体も現れて、「無理なことをしているのではないか…」と疑心暗鬼に囚われました。残酷な多頭飼育の現場を見たことがない人しか、殺処分ゼロを主張できないことを知っていたからです。

『犬と愛犬家の楽園～殺処分ゼロ』のユートピアで働いていた獣医師の内部告発が、2018年9月の《週刊新潮》に載りました。「ああ、やっぱり…。行政が連携していても、多くの有名人が関わっていても、人の目が届かない所で起きる虐待は同じだった」と、2001年に目の当たりにした仙台市内の多頭飼育現場の記憶が甦りました。

「あの時は捨て場にされた老人が、自分1人ではどうしようもなく、お金もなくできなかったのに、今度はお金を集めて、世間を欺いたのだとしたらずっと罪深い。でも、そこで怯え、痛めつけられ、未来を閉ざされ、ただ生かされているだけの犬の苦しみは同じだ」と感じました。

古きを鑑みて、選ぶべき真路を考えてもらうために、《仙台発 動物愛護アーカイブ》のパネル展を令和2年10月16日～30日、コロナ禍でも通気の良い、仙台市青葉通り地下道ギャラリーにて開催しました。今後も、アニマルクラブにいる猫や犬、ここで一生を終えた子達、里親さん宅に行った子達をボランティアが描いた『動物達からの絵手紙展』と共に、開催していく予定です。